

主題研究通信⑤

自ら考え、伝える力の育成

～書く活動を中心にした、学習過程・継続的な取り組みの工夫の研究～

遅くなりましたが、前回の研修の際、指導主事がお話されたことを簡単にまとめました。改めて、意識して、主題研究、日々の学習に取り組んでいただければと思います。

《授業実践について》

☆ 国語の評価方法

- 例 × 大きな声でスラスラ言えるから
○ 5年生→事実と感想、意見を区別しているから（ねらいにあっている）

☆ 何をねらって授業をするか。取り扱う指導事項は何か。

※教科書の【たいせつ】と、学習指導要領、スタンダードカリキュラム等を参考にする。

学習指導要領から【書くことの指導事項の系統表】



文部科学省
https://www.mext.go.jp/content/1407196_24_1.pdf
 [PDF] 教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表

	B 書くこと		
	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年
	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
題材の設定	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見つけたら、必要な事柄を集めたこと、確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めたり材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えを選び、集めたり材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
考えの形成	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容の書き表し方を工夫すること。	ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなどを区別して書いたり、意見を区別して書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
記述			エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
推敲	エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
共有	オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	オ 書くこととしたことが明確になっているか、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	カ 文章全体の構成や展開が明確になっているか、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
言語活動例	(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。		
	ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。	ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。	ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。
	イ 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。	イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。	
	ウ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ウ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	イ 短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。

☆書くことの表現過程の中で、特にどこの部分に力を入れるか、それぞれにどんな手立てをとるのかを考える。

【書くことの表現過程】	指導主事の例から	勝手に一言まとめ
① 題材の設定	☆子ども達に「書きたい!」と思わせる導入の工夫 <input type="checkbox"/> コーナーを作る <input type="checkbox"/> ゴールの見本を示す <input type="checkbox"/> クイズや写真 <input type="checkbox"/> 体験と関係づける	書く必然性 【書く活動の半分】
② 情報の収集 ・内容の検討	☆ 必要な材料集め、分類・整理する <input type="checkbox"/> 思考ツールを使う <input type="checkbox"/> 付箋を使う <input type="checkbox"/> 個人 or グループ	幅広く集材し・整理する
③ 構成の検討	☆ 順序や段落相互の関係、役割等を意識して組み立てる <input type="checkbox"/> 構成考えるポイントが明確か <input type="checkbox"/> 見通しが持てるような視覚支援 <input type="checkbox"/> 付箋の色分け <input type="checkbox"/> 協働的な学びの場の設定	立ち返る場所
④ 考えの形成	☆考えの形成 <input type="checkbox"/> 思考ツール <input type="checkbox"/> フィッシュボーン <input type="checkbox"/> クラゲチャート	思考方法の習得
⑤ 記述（下書き）	☆自分の考えが伝わるように書く。表し方を工夫する。 <input type="checkbox"/> 学んだ表現は掲示する。追加していく。 <input type="checkbox"/> タブレットを活用して、項目ごとに書く <input type="checkbox"/> 絵や写真、資料を入れる	今までの学習で学んだ、文章表現にアクセスできるように
⑥ 推敲	☆相手や目的を意識して、自分の良さを気づくように <input type="checkbox"/> 観点を明確にしてから、推敲する。 <input type="checkbox"/> 自分の文章の良いところを見つけるようする	観点を明確に
⑦ 記述（清書）	⑤と同じ	
⑧ 共有	⑥推敲と同じ	

この視点を持って、教材研究を行い、その単元で「どんな力をつけたいか」、「子どもの実態はどうか」、「どんな手立てをとればみんなが書くことができるのか」、を考えていけるといいなと思っています。

《継続的な取り組みについて》

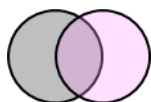
継続的な取り組み例（詳しくは、指導主事の資料をご覧ください。）

① 語彙を豊かにする

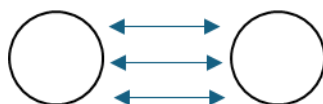
- 言葉集め
- 集めたことばを表にする
- 感情を表す言葉を集める
- 意味による言葉のまとまりに注目して言葉あつめ
- オノマトペ集め・分類
- 対義語
- イメージマップ
- タブレットを使って、自分だけの言葉の宝箱を作る

② 図解スキルを身に着ける

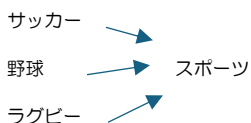
□同じところを見つける



□比べる（違うところを見つける）



□例からまとめる



□順序を説明する

稲⇒玄米⇒白米

③ 説明シート

④ 新聞ワーク（研究主任がデータ持っています）

⑤ 取材シート

⑥ 思考ツール

代表的な思考ツール（シンキングツール）の例

ツール名	ベン図	イメージマップ	ステップチャート	フィッシュボーン図	Xチャート	マトリクス(表)	クラゲチャート	キャンディチャート	KWLチャート	座標軸
形										
できること	共通点と相違点を見つける	アイデアを出す	順序を整理する	事象の要因を探る	複数の視点から捉える	関係の有無や関連度合いを示す	理由を挙げて具体的に示す	仮定・条件に基づいて結果を予測し根拠を示す	「知っていること」「知りたいこと」「分かったこと」を整理する	2つの軸で整理し位置付けを明確にする
考えるための技法(思考スキル)	比較する	関係づける/関連付ける/評価する	順序づける	構造化する/具体化する/抽象化する	多面的・多角的に見る/分類する	分類する/整理する/比較する/多面的・多角的に見る	理由づける/具体化する/抽象化する	仮定する/予想する/推論する	見通す	順序付ける/比較する

年末が近づいてきました。継続的な取り組みを、日々していただいていると思います。ここで一度、各学年見直してもらって、有意義な研究になるといいなと思っています。12月4日（水）の5校時に6年2組が授業実践をしていただけます。次週計画等よろしく申し上げます。